

## 製品安全データシート

[混合物用(塗料用)]

作成 2009年7月1日

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : コスモマイルドシンナーN  
 会社名 : 株式会社グローケミカル  
 住所 : 福井県鯖江市下野田町28-4  
 担当 : 開発部  
 電話番号 : 0778-62-3158  
 FAX番号 : 0778-62-3160  
 推奨用途及び使用上の制限事項 : 建築用塗料

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

引火性液体 : 区分3  
 急性毒性  
   経口 : 区分外  
   経皮 : 分類できない  
   吸入(ガス) : 分類対象外  
   吸入(蒸気) : 区分5  
   吸入(粉塵、ミスト) : 区分外  
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分3  
 眼に対する重篤な損傷性/  
 刺激性 : 区分外  
 感作性  
   呼吸器 : 分類できない  
   皮膚 : 分類できない  
 生殖細胞変異原性 : 区分外  
 発がん性 : 区分外  
 生殖毒性 : 区分1  
 特定標的臓器/全身毒性  
   単回暴露 : 区分1  
   反復暴露 : 区分1  
 吸引性呼吸器有毒性 : 区分外  
 水生環境  
   急性有害性 : 区分3  
   慢性有害性 : 区分3

## GHSラベル要素

引火性液体及び蒸気  
 軽度の皮膚刺激  
 吸入すると有害のおそれ  
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
 水生生物に有害  
 長期的影響により水生生物に有害

臓器の障害  
 臓器(呼吸器系)の障害  
 危険有害性情報 : 臓器(肝臓)の障害  
   臓器(腎臓)の障害  
   臓器(中枢神経系)の障害  
   呼吸器の刺激のおそれ  
   長期又は反復暴露による臓器の障害  
   長期にわたる、または、反復暴露により臓器(呼吸器系)を損傷  
   長期にわたる、または、反復暴露により臓器(神経系)を損傷  
   長期にわたる、または、反復暴露により臓器(肝臓)を損傷のおそれ  
   長期にわたる、または、反復暴露により臓器(精巣)を損傷のおそれ

注意書き

仕様前に取扱説明書を入手すること。  
 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 静電気放電に対する呼び装置を講ずること。  
 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。

予防策

: 火花を発生しない工具を使用すること。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 (必要なとき以外は)環境への放出を避けること。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 取扱い後はよく手を洗うこと  
 保護手袋および保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 必要に応じて個人用保護具を使用すること。

対応

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚(または髪)に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水シャワーで洗うこと。  
 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。

暴露した場合

医師に連絡すること。  
 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること

廃棄

: 内容物や容器を、国際／国／県都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有毒性

有毒性 : 知見なし  
 環境影響 : 知見なし  
 物理的及び化学的危険性 : 可燃性がある。  
 熱、火花及び火炎で着火することがある。  
 重要な徴候 : 特になし  
 想定される非常事態の概要 : 特になし  
 国/地域情報 : 引火性液体

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物				
化学名又は一般名	: 混合溶剤				
化学式	: <1,3,5-トリメチルベンゼン>		C9H12		
	: <キシレン>		C8H10		
濃度又は濃度範囲	: 官報公示整理番号				
化学名又は一般名	略号	濃度又は濃度範囲	化審法	安衛法	CAS No.
高沸点芳香族ナフサ	-	65～75%	-	-	64742-94-5
低沸点芳香族ナフサ	-	20～30%	-	-	64742-95-6
1,3,5-トリメチルベンゼン	-	2.50%	-	-	108-67-8
キシレン	-	2.00%	-	-	1330-20-7
法規制対象成分	: 化学名または一般名		安衛法	PRTR法	
	高沸点芳香族ナフサ		通知対象物	指定化学物質に該当しない	
	低沸点芳香族ナフサ		通知対象物	指定化学物質に該当しない	
	1,3,5-トリメチルベンゼン		通知対象物	第一種指定化学物質第224号	
	キシレン		表示対象物	第一種指定化学物質第63号	
			通知対象物		
GHS分類に寄与する不純物及び安定添加物	: 特になし				

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。  
身体を毛布等でおおい、保温して安静を保つ。  
呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。  
直ちに医師の手当を受ける。  
蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気のある新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。  
必要であれば衣類、靴などを切断する。  
製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。  
石鹸を使ってよく落とす。  
外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医師の手当を受ける。  
付着物を布にて素早く拭き取る。  
大量の水および石鹸または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。  
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。  
汚染された衣類を取り除くこと。
- 目に入った場合 : 清浄な水で15分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。  
洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。  
直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
直ちに、医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせてはならない。  
直ちに医師の処置を受ける。  
必要に応じて、人工呼吸や酸素吸入を行う。  
被災者に意識のない場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物は飲み込ませないこと。  
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。
- 最も重要な徴候及び処置  
応急措置をする物の保護 : 特になし  
汚染された衣類や保護具を取り除く。  
救助者が有害物質に触れたり、吸入したりしないよう適切な保護具を使用するなど注意する。  
適切な保護具(保護メガネ、防塵マスク、手袋等)を着用する。換気を行う。
- 医師に対する特別な注意事項 : 特になし

## 5. 火災時の措置

- 消化剤 : 粉末消化薬剤、泡消化薬剤、二酸化炭素、砂炭酸ガス、泡、粉末
- 使ってはならない消化剤 : 冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消化に棒状水を用いてはならない。  
水(棒状水、高圧水)
- 火災時特有の危険有害性  
特定の消化方法 : 特になし  
消火作業は可能な限り風上から行う。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
周囲の設備等に散水して冷却する。  
消火の為の放水等により、環境に製品が流出しないよう適切な措置を行う。  
可燃性のものを周囲から素早く取り除く。  
指定の消化剤を使用すること。  
高温にさらされる密封容器は水をかけて冷却する。
- 消化を行う物の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、給気式呼吸用保護具)を着用する。  
適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。  
消火活動は風上より行う。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項/  
保護及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。  
漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、ろ過式呼吸用保護具、給気式呼吸用保護具等を着用する。  
作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。  
周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。  
付近の着火源・高温体および付近の可燃物を素早く取り除く。  
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川や下水等に排出され、環境に影響を及ぼさないように注意する。  
河川への排出により、環境への影響を及ぼさないように注意する。
- 封じ込め及び  
浄化の方法・機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。  
大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。  
漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。  
付着物、廃棄物などは関係法規に基づいて処置すること。  
衝撃、静電気にて火災が発生しないような材質の用具を用いて回収する。  
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には盛土で囲って流出を防止する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消化剤を準備する。  
火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い上の注意

## 取扱い

## 技術的対策

- : 取扱いは、換気のよい場所で行う。  
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気が発生させない。  
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らないようにする。  
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。  
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。  
換気のよい場所で行う。  
容器はその都度密栓する。  
皮膚、粘膜、または着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。  
取扱後は手・顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まない。  
周辺で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

## 局所廃棄・全体廃棄

: 特になし

## 注意事項

: 取扱う場合は、局所廃棄内で取扱う。

## 安全取扱い注意事項

: 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。  
炎、火花、高温体との接触を避ける。

## 保管

## 技術的対策

: 日光の直射を避ける。  
通風のよいところに保管する。

## 適切な保管条件

: 火気厳禁。  
直射日光を避け、換気のよい場所で、容器を密閉し保管する。  
保証期限を過ぎた製品は速やかに廃棄する。  
火気、熱源から遠ざけて保管する。

## 安全な容器包装材料

: 適切な容器包装材料

**8. 暴露防止および保護措置**

設備対策	: 密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。 装置は耐腐食性のある材質を用いて作ること。 腐食性物質に、作業者が直接触れたり、暴露しないような配慮をすること。		
管理濃度	: <キシレン>	50ppm	
許容濃度	: 設定されていない。		
1,3,5-トリメチルベンゼン	25ppm	TWA	ACGIH
1,3,5-トリメチルベンゼン	123mg/m <sup>3</sup>	TWA	ACGIH
キシレン	100ppm	TWA	ACGIH
キシレン	434mg/m <sup>3</sup>	TWA	ACGIH
保護具			
呼吸器用の保護具	: 必要に応じて、有毒ガス用防毒マスク、送気マスク等を使用する。 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。		
手の保護具	: 保護手袋または防災面を着用する。 有機溶剤または化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。		
目の保護具	: 保護眼鏡または防災面を着用する。 取扱いには保護メガネを着用すること。		
皮膚及び身体の保護具	: 保護衣および必要に応じて保護長靴、保護前掛けを着用する。 取り扱う場合には、皮膚を直接曝さないような衣類を着けること。また化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。		
適切な衛星対策	: 作業後、手をよく洗い、うがいをしてから喫煙、飲食等をする。		

**9. 物理的及び化学的性質**

物理的状态		
形状	: 液体	
色	: 無色透明	
臭い	: 溶剤臭	
pH	: 該当しない	
融点/凝固点	: 該当しない	
沸点	製品	150°C
初留点	: 該当しない	
沸騰範囲	: 該当しない	
引火点	製品	42°C
自然発火温度(発火点)	製品	260°C
燃焼性(固体・ガス)	: 該当しない	
燃焼又は爆発範囲		
下限	製品	0.6Vol%
上限	製品	7Vol%
蒸気圧	: 該当しない	
蒸気密度	: 該当しない	
比重(相対密度)	: 0.79g/cm <sup>3</sup>	
溶解性	: 該当しない	
オクタノール/水分配係数	: 該当しない	
分解温度	: 該当しない	
その他データ	: 特になし	

**10. 安定性・反応性**

安定性	: 保管の項目記載の保管条件で安定。
危険有害反応可能性	: 有機物であるため、参加性物質と接触すると、発火、爆発の危険性がある。 強酸、強アルカリと反応する恐れがある。
避けるべき条件	: 直射日光、炎、火花、高温体との接触を避ける。
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 特になし

## 11. 有害性情報

## 急性毒性

高沸点芳香族ナフサ	2,000 $\mu$ l/kg	経皮ラビット(LD50)	日本塗料工業会
高沸点芳香族ナフサ	>2,360mg/m <sup>3</sup>	吸入ラット(LC50)	日本塗料工業会
低沸点芳香族ナフサ	8,400mg/kg	経口ラット(LD50)	日本塗料工業会
1,3,5-トリメチルベンゼン	24mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	CERIハザードデータ集
1,3,5-トリメチルベンゼン	4,900ppm/4H	吸入ラット(LC50)	
1,3,5-トリメチルベンゼン	96,000mg/m <sup>3</sup>	吸入ラット(LC50)	日本塗料工業会
キシレン	3,500mg/kg	経口ラット(LD50)	CaPSAR
キシレン	4,300mg/kg	経口ラット(LD50)	環境省リスク評価
キシレン	29.08mg/l-4hr	吸入ラット(LC50)	環境省リスク評価
キシレン	20,000ppm	吸入ラット(LC50)	日本塗料工業会
皮膚腐食性/刺激性	データなし		
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: データなし		
呼吸器感作性/皮膚感作性	: データなし		
変異原性(生殖細胞変異原性)	: データなし		
発がん性	: データなし		
生殖毒性	: データなし		
特定標的臓器	: データなし		
全身毒性-単回暴露	: データなし		
全身毒性-反復暴露	: データなし		
呼吸性呼吸有毒性	: データなし		

## 12. 環境影響情報

## 生態毒性

魚類			
キシレン	3.3mg/l-96hr	ニジマス	CERI・NITE有害性評価書
甲殻類			
1,3,5-トリメチルベンゼン	6000 $\mu$ g/L(48H)		
藻類	: データなし		
残留性/分解性	: データなし		
生態蓄積性	: データなし		
土壤中の移動性	: データなし		
他の有害影響	: 漏洩、排気などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いには注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。		

## 13. 廃棄上の注意

- ・大量廃棄の場合、産業廃棄物処理業者に引取りを依頼する。
  - ・少量廃棄の場合、焼却炉を用いて焼却する。
- 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約(マニフェスト)をして処理をする。
- 特別管理産業廃棄物(廃油)に該当するので、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理すること。
- 容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- 排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。
- 空容器は内容物を完全に除去してから処分する。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

国連分類 : 3: 引火性液体

国連番号 : 1263

品名(国連輸送品名) :

容器等級 :

## 国内規制

適用法令を参照。

取扱いおよび保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にすること。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法の定めるところに従うこと。

航空輸送 : 航空法の定めるところに従うこと。

特別の安全対策 : 特になし

輸送の特定の安全対策及び条件 : 火気厳禁。  
輸送前に容器の破損、腐食漏れ等がないことを確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。  
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

応急措置指針番号 : 128: 塗料(引火性)

## 15. 主な適用法令

<製品> 労働安全衛生法施工令別表1-4 引火性の物

: 有機溶剤中毒予防規則 第3種有機溶剤  
消防法第2条危険物 別表第4類 引火性液体

<キシレン> : 悪臭法令第1条

## 16. その他

主な引用文献 : 日本塗料工業会編集「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」

改訂履歴

- (1) このデータシートは、製品に関する情報提供を目的としたものであって、その記載内容に関し、弊社が売主その他の立場で保証責任を負うものではありません。
- (2) このデータシートは、作成日又は改訂日までに弊社が入手した情報に基づいて作成しておりますが、記載内容は新しい知見又は法規制の変更等により改訂されることがあります。
- (3) このデータシートは通常想定される保管方法及び取扱い方法の範囲における情報提供です。したがって、特殊な保管又は取扱いを行う場合は、その保管又は、取扱いに適した安全対策を実施の上ご利用下さい。
- (4) 本製品の貴社の用途に対する法規制、適合性及び安全性については、弊社では確認しておりませんので、調査又は試験により確認の上ご利用下さい。
- (5) 貴社において本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法等輸出関連法規を遵守のうえ、輸出してください。